

対馬市観光振興推進計画 概要版

(対馬市の観光振興の特徴的な課題)

- 課題① 観光ニーズが変わっても、観光の内容・質が変わっていない。
- 課題② 対馬の“強み”が“期待(=観光目的)”になっていない。
- 課題③ 他の島と比較して対馬観光・ブランドイメージが欠如している。
- 課題④ 誰を観光のターゲットにするか、明確でない。
- 課題⑤ “対馬にわざわざ観光に行く”目的・売りが欠如している。

量から質、団体から個人へ観光価値観のシフト “強み”を“期待”に変える事業者主体の観光地づくり

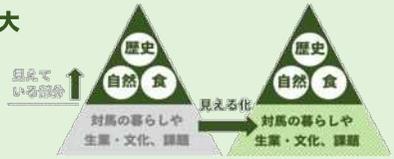
(対馬観光コンセプトと対馬市観光振興の方針)

日本の始まりに会おう、源(みなもと)の島。

方針① 対馬市の観光の再定義・裾野拡大

(観光定義)

対馬固有の暮らしや生業、文化、課題を
見える形で観光資源として活かし、
対馬の新たな観光を創出するとともに、
市民の観光への関わりを増加・多様化。



方針② 対馬の強みを最大限に生かす観光ポジショニングの設定

(立ち位置)

「開放的」「娯乐的」という島旅ではなく、
「向上・達成」「知的・マニアック」という
対馬の価値を最大化する切り口を設定。



方針③ 対馬の売り=尖った観光コンテンツ創出

(観光目的)

「強み」の観光資源に「尖り」を加えたり、
組み合わせることで対馬にしかない観光コン
텐츠を作り出すほか、その観光資源の基盤となる
自然環境や文化を守る仕組みづくりを推進。



方針④ コアなファンづくりによる持続可能な観光へのシフト

(ターゲット)

対馬の観光に関心のある層を「伝統尊
重派～社会達成派」に設定し、コアな
ファンに受け入れられる対馬を実現。



方針⑤ 事業者のニーズに沿った段階的な支援

(事業者支援)

事業者の実情に応じた段
階的・全方位的な支援を
通じて地域の底上げ推進。



(対馬市観光振興のアクションプランと目標)

対馬市の観光を支える事業者・対馬市民

事業者・市民の取組みをサポート 選択と集中による重点的な支援

支援① 観光コンテンツの造成支援

支援② 観光インフラの整備

支援③ 観光プロモーションの展開

支援④ 事業者への段階的な支援

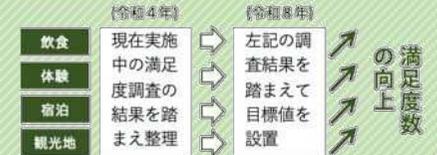
量から質への転換 持続可能な観光への転換

対馬来訪者1人1人の観光の質を高めるための目標設定へ

KPI① 観光消費額の増加



KPI② 観光満足度の向上



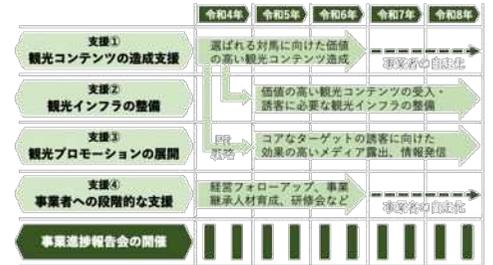
(対馬市観光振興の推進体制)

本計画の推進にあたっては、観光産業事業者・対馬市民を中心に据え、対馬市や(一社)対馬観光物産協会をはじめとする各機関が連携を図りながら一体的な支援を行う体制づくりを推進。



(対馬市観光振興のロードマップ・評価システム)

観光コンテンツの造成支援や事業者への段階的支援に早期に取り組み、事業者による自動化に向けてサポートするほか、事業の達成状況を把握するために、PDCAサイクルを通じた計画の検証を推進。



PDCAサイクルを通じて、対馬市観光振興推進計画の達成状況を検証(年2回程度の事業進捗報告会の開催を検討)

